



夫の腎臓と、笑うわたし

両角 晴香

斜め上の発想に、救われたことがあります。

それは、夫から腎臓をひとつわけてもらう「夫婦間腎移植」を行う半年前の出来事でした。

わたしの職業はライターで、2017年秋、ある絵本作家Aさんのアトリエにお邪魔することになりました。鞆には、いつもの取材セットのほか、Aさんへの「お願い」が入っていました。

取材は一時間で終わり、いよいよお願いの時間です。わたしは鞆からAさんが書いた絵本『ふたりではんぶん』を取り出し、サインをお願いしました。普段、そんなお願いはしません。取材はお仕事で公私混同はタブー。けれども今回ばかりは…と勇気を振り絞ったのにはワケがありました。

『ふたりではんぶん』は、なんでもふたりではんぶんこして仲良くしようね、というメッセージが込められた絵本です。まるで、夫とわたしの日常が描かれているようで、『ふたりではんぶん』はいつしか夫婦の宝物になりました。

多くの夫婦がそうであるように、わたしたちも、よろこびや悲しみをはんぶんこして生きてきました。趣味も寝床も晩御飯も小さなビスケットですら、はんぶんこ。

半年後に、夫婦間腎移植をすることが決まり、いよいよ命まではんぶんこすることを、著者であるAさんにどうしても報告したかったのです。

Aさんにお礼メールを送ると、すぐに返信がありました。

「なるほど。なかなか色っぽい手術だな。ほぼ上手くゆきそうだ。（原文ママ）」。

色っぽいーーー。

夫婦間腎移植のことを、そんな風に表現するのは、いかにもAさんらしい。凡人のわたしには思い付かない斜め上の発想です。

腎臓は尿をつくる臓器です。子どもはおしっこかうんことかで笑うけど、たしかにおしっこをつくる腎臓は恥部であり、ちょっとはずかしいパーツなのかもしれないなあ、なーんて。

そんな恥ずかしいもの(?)を、半年後に体内に入れるのです。それも、一度入れたら入れっぱなし。世界一愛する男の腎臓は、生涯とりだすことはありません。

Aさんのメールには、わたしと同じ「はるか」という名前の自閉症の男の子が、絵本を通して豊かな自閉青年になったお話や、記憶喪失の読者が絵本を読んで突然記憶が戻ったお話が添えられていました。

「絵本は不思議だね。君も不思議な世界の住人になりました。おめでとう」。

メールはそう締めくくられ、わたし、ふわふわと不思議な世界へ。こころやからだがかついつきは絵本の世界に遊びに行けばいいんだ。絵本の世界は自由でやわらかくてやさしい。半年後に手術台にのぼる恐怖心がやわらいでいくようでした。

病を色ものに例えるだなんて不謹慎でしょうか。けれど、こうした自由な発想に救われることもあるのです。

病を病として捉えると、心はすり減っていく一方です。

よく、「治療の第一歩は病を受け入れていくこと」というけれど、治る見込みがない病を受け入れて生きていくことは容易ではありません。

特に、中高生の思春期まっただ中で病を受け入れるのは、わたしにとっては簡単ではありませんでした。

のんびりした性格で、腎臓病の症状を「七色のおしっこ」とネタにしては友人と

笑いあうような子どもでした。腎臓病患者が避けなくてはならない塩分たっぷりのフレンチフライをふざけて食べて見せて、「あんた、ジン(腎臓病)なんじゃけ調子にのりんさんなよ」と友人に叱られるようなところがありました。

重い慢性疾患を抱えると治療は生涯続きます。長く生きながらえるためには厳しい自己管理が不可欠となるわけですが、一度きりの人生をたまにはラフに楽しみたいと思うこともありました。もちろん自己責任で。

しかし、36歳で末期腎不全になり、元気な夫から「僕の腎臓をあげる」と名乗り出してもらったことで、わたしの病はわたし一人のものではなくなりました。

他者を巻き込むプレッシャーから、手術の前日まで葛藤が続きました。

「重い病を患ったのはわたしの都合なのに、元気な夫の体にメスを入れるなど許されるのだろうか」

「夫の善意を搾取しているのではないか」

「(腎移植手術は安全に行われるようになったものの) 万一事故が起きて夫の命に関わるのであれば、なにもかもおしまいだ」

そんなことばかり繰り返し考えていると、どんどん笑顔が減っていき、夫にいらぬ心配をかけてしまいました。もう、八方塞がりです。

そんな最中にAさんに出会い、Aさんの斜め上の発想に、わたしは救われたのだと思います。

いまでも、考え込むことがあれば絵本を開きます。絵本があれば、夫が帰宅するころには笑顔に戻れるはず。絵本は夫婦円満の助けにもなるようです。

文/もろずみ・はるか

ライター・医療コラムニスト

広告制作会社を経て2010年に独立。中学1年生の時に慢性腎臓病を発症。18年3月、夫の腎臓を移植する手術を受けた。

- ・連載 (ウートピ) https://wotopi.jp/archives/cat_summary/kidney
- ・連載 (yomiDr.) <https://yomidr.yomiuri.co.jp/column/jinzou-morozumi/>
- ・YouTube <https://www.youtube.com/channel/UCyAM15ScktBfsqTxx7HTbA>
- ・ラジオ <https://885fm.jp>